

オルレアン大学夏期フランス語研修の報告

Report on the French summer course at the University of Orléans

三上純子
Mikami, Junko
ルロワイエ、ベアトリス
Leroy, Béatrice

Abstract

In 2007, French teachers at the Foreign language Institute led a group of students to the French summer course at the University of Orléans. The purpose of this paper is to report on our preparation for the program and the content and the results of it, and to consider how to improve the program in the future.

1. はじめに

外国語教育研究センターのフランス語スタッフは、今年度、本学のフランス語としては初めて、フランスでの夏期語学研修を実施し、共通教育科目の集中講義・フランス語 B として単位認定を行った。本稿では、短期語学研修についての情報共有のために、この研修の概要と成果及び今後の検討課題について報告したい。

2. オルレアン大学フランス語研修を企画した理由

まず、この時期に語学研修を企画した理由及び本学の協定校ではないオルレアン大学で語学研修を行うことになった経緯を説明しておきたい。

数年前から、フランス語には集中講義として開講される語学研修はないのかという学生からの質問を受けるようになった。本学では 1 学期に履修登録できる単位数の上限が設定されているため、学年が上がり専門科目の登録数が増えると初習言語を続けることが難しくなる。集中講義は履修上限からはずれるため、語学研修ならば履修登録できるという学生がいるように思われた。また、学域再編により新設される国際学類等の学生のために短期語学研修先を開拓する必要もあった。

さらに1人の学生の研修体験が私たちの決断を促した。2006 年度に開講された「海外異文化体験」という、個人で行った語学研修・海外ボランティアを単位認定する科目において、ある学生がパリの語学学校で語学研修を行った。4 週間で 70 万円を使った研修に、当人はある程度満足しているようではあった。しかし、語学教室と観光を中心としたその研修では、ホームステイであったにもかかわらず、フランスの人々との交流が決定的に不足しているように思われた。センターのフランス語スタッフには、フランスまで行くのであれば、現地の人々とコミュニケーションをとり、もっと生活文化にふれて欲しいという願いがあった。

ちょうどそうした時期に、本学の元外国人教師で、オルレアン大学応用言語学科で日本語を担当さ

れているジャン・バザンテ氏から、オルレアン大学の語学研修を紹介された。日本語を学ぶ学生がいる大学で研修を行えば、参加者がフランス人学生とコミュニケーションできる機会も増えるのではないかと考え、私たちは研修内容・費用等についてオルレアン大学との交渉を開始した。

3. 準備と企画

2006年12月に集中講義・共通教育フランス語Bとしての開講を決定した。2007年2月に行った1年生対象の研修参加についてのアンケートでは10名程度の希望者があった。これを受けて3月に三上がオルレアン大学を訪問し、キャンパス、街の環境調査および語学研修担当の教員・事務担当者との打ち合わせを行った。オルレアンはパリから急行で1時間程度のところにある、人口十数万の都市である。歴史的な街並みの残る静かなたたずまいに、学生が落ち着いて勉強できる場所であるとの印象を持った。また、スタッフも日本人学生の受入れに慣れており、トラブルへの対応についても経験があるとの説明を受けた。

2007年4月の科目ガイダンスの結果、最終的に文学部、法学部、経済学部、教育学部、理学部の8名の学生(2年生6名、3年生2名)が履修登録を行った。授業の目標を「フランス語でコミュニケーションできるようになる」ことにおき、研修中の課題として、フランス人の食生活、余暇の過ごし方、フランスの学生生活について、二人一組でアンケートをとり、帰国後、そのコミュニケーション状況を分析したレポート(日本語)を提出すること、ホストファミリーの紹介文(フランス語)を作成することを課した。さらに、日本語を学んでいる学生たちとの交流の際に、金沢と金沢大学の紹介ができるように、テーマを分担して紹介文の準備をさせた。5月から8月まで火曜6限に教員二人で計6回の事前授業を実施したが、そこでは、前述のアンケートや金沢の紹介文を作成した。学生たちの準備した原稿を添削し、書き直させる作業が中心であった。研修参加者は一部を除いて顔見知りではなかったし、8名中、男子学生は1名というアンバランスな状況であったが、この事前授業期間に少しずつ相互理解が進んだように思われた。最終回には、文学部の阪上り子教員も交えて、フランスの日常生活についてのガイダンスを行った。

他方で、三上はグループの渡仏手続きを進めた。主な仕事は航空券の予約、オルレアン大学から送られてきたホームステイのための誓約書及びホストファミリー選択のためのアンケートの返送、海外旅行保険加入証明書の提出、研修にかかわる契約書の作成などである。こうした作業をオルレアン大学国際交流課のカトリーヌ・コクセッド氏と頻繁に連絡を取り合いながら行い、7月下旬に送金を終えた。

この研修は学生が1名ずつホストファミリーに滞在するホームステイであることが、大きな特色である。フランス語を1年半しか学んでいない学生にホームステイさせるのは冒険とも思われたが、ホストファミリーを選択するためのアンケートには、喫煙者やペットと生活ができるか、アレルギーはないか、子供のいる家が良いかどうかなどの項目があり、ミスマッチを防ごうとする姿勢が感じられた。

4. 研修の実施

研修日程は8月31日から9月25日までであった。三上は全期間同行し、ルロワイエは往路・復路および一部の日程に参加した。8月31日にオルレアンに到着後、学生たちはそれぞれのホストファミ

リーに引き取られた。翌日、オルレアン町の中心で学生たちと落ち合い、教員二人で町の重要ポイントを案内した。カフェでの昼食の取り方、郵便局でのトラベラーズチェックの換金の仕方、国鉄の駅での切符の買い方、テレフォンカードの買い方や電話の仕方などを説明し、体験させた。

研修の開始は9月3日であった。初日は大学で滞在と授業のガイダンス及びキャンパスや市内の説明が行われ、夜にはホストファミリーを交えた歓迎会が催された。これらの行事は、研修日程が一部重なっていた天理大学のグループと一緒に行われた。

翌日から学生たちはほぼ毎日、午前中3時間、午後2時間の授業に出席した。今回の授業は本学の学生8名を1クラスとした授業で、時間数は50時間であった。授業は発音、聴解、口頭表現、文法、筆記表現、文化、シャンソン等からなり、シャンソンはお別れ会で皆に披露するため、毎回その練習が行われた。授業内容については、あらかじめこちらの要望を伝えてあったので、三上が初回の授業に出席した他はオルレアン大学の教員にお任せした。9月21日に最終試験が行われ、全員が修了証を手にした。

日本語を勉強し始めて2年目のフランス人学生との交流会はバザンテ氏の授業に参加する形で、滞在3週目の18日に行った。本学の学生たちはそれぞれ用意した写真や地図を見せながら金沢の説明をした。その後、質疑応答や意見交換を日仏両言語で行った。マンガや音楽といった共通の話題も多く、授業後、自発的に交流するグループもでた。

日常生活について補足すると、学生たちは昼食は基本的に学食でとった。付き添い教員も週日はそこで落ち合い、ホストファミリーとのコミュニケーションの問題や日用品の買い物等についての相談にのった。昼食には、オルレアン大学の国際交流課職員のヴァンサン・プレヴォー氏もしばしば参加した。日本で研修した経験を持つ人だったので、学生たちも日本語とフランス語の両方でコミュニケーションをとることができた。昼食時に日仏のスタッフの意見交換ができたことは、研修の円滑な運営にも効果的だった。

また、事前の交渉が功を奏し、本来長期滞在する学生のみ認められていたマルチメディア教室のパソコンの使用が可能になったことは、本学の学生のオルレアン滞在を快適なものにした。日本の家族や友人にメールで連絡できたばかりか、観光地についての情報なども入手できた。

授業以外の行事としては、歓迎会(大学・オルレアン市役所)、夕食会、シュノンソー城等への遠足、お別れ会(大学)などがあつた。歓迎会、お別れ会にはホストファミリーも招待されており、付き添いの教員はホームステイの様子を聞くことができた。ビストロでの夕食会は参加者たちにはやや高かったと思われるが、フォワグラやカタツムリなどフランス独自の食材を味わう機会となった。また、ホストファミリーの中には、研修参加者全員をクレープパーティに招待してくれるほど友好的な家庭もあつた。週末のパリ観光については、ホテルの予約と情報提供を除き、学生たちの自主性に委ねた。地下鉄の乗り間違いなどはあつたが、小グループで各自の関心に応じたパリ観光を楽しんだようであつた。

今回の研修の参加費用は、ユーロ高もあり、航空券が約19万円、授業料・滞在費が約21万円であつた。週末のパリ観光等のお小遣いとしては6~9万円程度を使った学生が多かった。

なお、文学部の阪上君子教員が研修中にオルレアンを訪れ、次年度の研修付き添いのための下見を行ったことを付記しておく。

5. 研修時の問題点

今回の研修においては、幸い大きな事故もなく、いくつかの小さなトラブルがあったのみであるが、参考のために記しておく。

1) 空港への出迎えの遅れ 私たちがパリに到着したのは、フランスの夏のヴァカンス最終日の金曜であった。そのため高速道路が混んでおり、オルレアン大学スタッフの空港到着はかなり遅れた。電話で連絡を取りつつ、学生たちを交替で手洗いに案内するなどして待った。また飛行機内で気分が悪くなった学生もいたので、センタースタッフ2名が添乗したことは有効だった。

2) 衣類の準備不足 研修期間は好天に恵まれたが、朝晩はかなり気温が下がった。もちろん出発前のガイダンスでは、9月のフランスはセーターや上着が必要である旨話していたが、酷暑の日本では実感をもてなかったようで、大部分の参加者が衣類を買い足すことになった。経済的な負担にもなるので、今後はこの点を出発前に強調しておくべきであろう。

3) ホストファミリーとの適合性の問題 到着翌日に、1人の参加者がホストファミリーの対応に不満を持っていることがわかり、私たち教員にとっても無理もないと思われる状況であったため、国際交流課スタッフにホストファミリーの変更を依頼した。ただし、週末であったので、他のホストファミリーに一時的に預かってもらい、週明けに新しいホストファミリーに移らせた。また、研修途中にも、ホストファミリーのメンバーとのつき合い方について、多少悩むケースがあった。どこまでフランスの家族の生活に合わせるべきかというのは、難しい問題であろう。異文化体験としては、参加者にとって未知の暮らし方にふれることが望ましい。ただしストレスが強すぎてもうまくゆかないので、この調整をオルレアン大学スタッフと連携してどのように行かという点が、付き添い教員の重要な任務と言える。

4) 週末の個人旅行の準備 参加者たちは、フランスに着いてから週末のパリ旅行の計画を立てようとした。しかし、ちょうどラグビーのワールドカップの開催期間にあたっていたため、パリの安いホテルを探すのは難しかった。結局、語学力の問題もあり、付き添い教員の方で手配することになった。参加者全員がパリ観光を希望している場合は、今後は、研修出発前にホテルの予約をしておく方が安心であろう。

5) 健康上の問題 大きく体調を崩した参加者はいなかった。一人の学生がチョコレートクリームにアレルギー反応を示し、じんま疹を発症したが、医療機関を受診する以前に治まった。

6) 盗難 盗難は一件。一人の学生がパリの蚤の市でデジカメを盗まれた。引率教員が付き添い、オルレアンの警察署で盗難届を出した。学生はこの書類により、帰国後、保険の支払いを受けた。

6. 研修成果

1) まず、参加者は全員授業に皆勤し、最終テストの結果も概ね満足のゆくものであった。オルレアン大学のフランス語の授業担当者にも、本学のグループとは気持ち良く授業ができたと評判が良かった。参加者たちは授業や課題のアンケート実施を通じて、互いに助け合えるグループに育っていった。また、研修中は、ホストファミリーとの食事の際に表現をメモにとるなど、積極的な学習態度を示す学生が出た。さらに、付き添い教員に対してもフランス語や日常生活についての質問を自発的にする参加者

が目立った。ネイティブ教員が遠足に参加した際にも、日本の教室とくらべて、フランス語で話したいという意欲の高まりが感じられた。

2) 多くのホストファミリーが、参加者の礼儀正しさや滞在中のフランス語の進歩について評価してくれた。初めはほとんどフランス語がわからない状態でのホームステイであったと思われるが、ホストファミリーの温かさと学生たちの頑張りにより、最終的には受け入れ家族と良好な関係が築けたのは付き添い教員としても喜ばしいことであった。ホストファミリーの階層や生活習慣にはある程度の幅があり、家族構成もまちまちであった。学生たちは個々の条件に適応しつつ、人間的にも成長したと思われる。ホストファミリーのもてなしの心には深く感謝している。

3) 本学の授業としての提出課題であった、ホストファミリーの紹介文(フランス語)とアンケート状況の分析(日本語、2 本)は全員が提出した。アンケートについての報告によれば、最初はアンケートに答えてくれる人を見つけるのに苦労したものの次第に慣れて、どのように話しかければアンケートに答えてもらえたか、どのようなときに自分も楽しいと感じたかなど、各自がコミュニケーション状況について考えた様子がうかがえた。アンケート結果は付録として添付するので、参照されたい。

4) 参加者の一部は、帰国後、フランス語 B や文学部の授業を履修したり、協定校であるナンシー第二大学からの留学生たちと積極的に交流したりしている。数名は秋季の実用フランス語技能検定試験 3 級・準 2 級・2 級に挑戦した。そして 1 名が、ナンシー第二大学への派遣留学に応募し選考された。フランスでの生活体験が、参加者の学習意欲を高め、フランス語でコミュニケーションするモチベーションを刺激したことは確かであろう。

7. 学生の研修評価

帰国時の飛行機内で研修についてのアンケートを行った。金沢大学での準備に関する問いの中では、事前授業の回数について「ちょうど良かった」が 5 名、「少なすぎた」が 3 名であった。自由記述の中には、携行品、ホストファミリーや授業内容について出発前にもう少し詳しく知りたかったという意見があった。今後は事前ガイダンスの折に前年度の参加者に来てもらうなどの工夫をすることが望ましい。

研修内容については、授業、ホームステイ、遠足、日本語を学ぶフランス人学生たちとの交流など項目別に満足度を尋ねた。ほとんどの問いで、大多数が「とても良かった」、「良かった」を選択している。授業については、「先生が親切だった」、「説明がわかりやすかった」などの感想があった。ホームステイについての満足度は特に高く、「ご飯がおいしかった。とても親切」「家族にマンガ好きな人がいて、会話がはずんだ」などの声があった。他方で、家によっては「朝食が簡単でお腹がすいた」、「洗濯物が 1 週間以上返ってこないこともあった」との問題点の指摘もあった。

オルレアン大学スタッフのサポートについても、大多数の参加者が「とても良かった」と答えている。ホストファミリー変更の際の迅速な対応、日本語の話せるプレヴォー氏の親切なサポート等の評判が良かった。オルレアン大学でも、授業終了時に研修についてのアンケートを行っており、国際交流課によれば、概ね肯定的な結果だったとのことである。本学で行ったアンケート結果も研修内容に関する部分は、自由記述も含めて、オルレアン大学側に送った。今後も共同して、参加者のより満足できる

研修にするべく努力してゆきたい。

8. 今後の改善点・検討点

- 1) 学生への課題について 今回は初めてということもあり、私たち教員もやや欲張りすぎたきらいがある。たとえば、日本語を学ぶフランス人学生との交流授業のために、金沢や大学の説明をフランス語で行う準備をさせたが、学力、モチベーション、時間の不足から、かなりの作業を教員がすることになった。その結果、学生たちにはやや難しい文章となったため、オルレアン大学でのプレゼンテーションもあまり上手にできなかった。交流会では、むしろ学生たちの日常生活について、より平易なフランス語で話させるなど、背伸びしない態度も重要だと感じた。また、教員の負担が大き過ぎては、研修を長く続けることも難しくなる。ホストファミリーの紹介文(フランス語)と日本語によるレポート1本程度が適切な分量の課題と思われる。
- 2) 日本語を学ぶ学生たちとの交流について 参加者に対するアンケートの中で最も多かった要望は、日本語を学ぶフランス人学生たちとの交流を研修の早い時期に設定できないかというものであった。フランスの大学の新学期が9月末であるため、研修の3週目に交流の授業を行わざるを得なかったのだが、内容には満足したものの、もっと出会いの場を増やして欲しいという意見が多数を占めた。これは難しい問題だが、来年度はオルレアン在住の学生たちとの昼食会などを2週目に開くことをオルレアン大学の事務担当者に打診している。
- 3) グループ内の学力差について 今回の参加者8名の中には、仏語仏文専攻の学生が2名おり、一部の学生との間にやや学力の開きがあった。授業のレベルについての不満は前述のアンケートの記述にはなかったが、本学のグループを1クラスとした研修の場合、学力差のために授業内容に満足できない学生が出る可能性は高い。この問題は、オルレアン大学フランス語センターの夏期研修コースが今後充実すれば解決すると思われるが、それができない場合は、他大学との共同実施によりクラスレベルを増やすといった対策を講じる必要がある。
- 4) 費用の問題について 学生たちにとって、研修参加の一番の障害は費用の問題である。研修希望者を募ったアンケートにおいても、個人負担額がもっと安ければ行きたいという声は多かった。参加者が増えれば、授業料等の一人分の負担額は下がるので、この点についても他大学との共同実施が有効であろう。また、大学として学生に何らかの支援ができないかという検討もしていただければ有り難い。
- 5) 研修参加承諾書について 今回は、幸い大きな問題もなく帰国できた。しかし、いろいろなリスクを考慮すると、全学共通の短期語学研修用の研修参加承諾書があるとよいと思う。
- 6) オルレアン大学との交流協定について オルレアン大学からは、金沢大学と交流協定を結び、日本語を学ぶ学生たちを金沢に交換留学させたいとの希望を聞いている。オルレアンは本学の学生の留学先としても良い環境のように思われるので、この問題については、今後、人文学類・国際学類の教員を中心に積極的に検討していただきたいと考えている。

付録 **Les habitudes des Français (thème : l'alimentation)**

Personnes âgées Famille Couple

1) En général, qu'est-ce que vous prenez au petit-déjeuner ?

- a) du café 6 b) du thé 7 c) du chocolat 2 d) du jus de fruit 4
e) des céréales 3 f) du pain 10 g) de la confiture 6 h) du beurre 0 i) un croissant
0

2) Est-ce que vous mangez souvent du pain ?

- a) tous les jours 7 b) de temps en temps 3 c) jamais 0

3) Est-ce que vous mangez souvent du fromage ?

- a) tous les jours 8 b) de temps en temps 3 c) jamais 0

4) Est-ce que vous buvez souvent du vin ?

- a) tous les jours 5 b) de temps en temps 4 c) jamais 3

5) Qu'est-ce que vous buvez comme eau ?

- a) de l'eau minérale 8 b) de l'eau du robinet 5

6) Comment est-ce que vous préparez le dessert ?

- a) vous l'achetez 5 b) vous le faites 6

7) Combien de temps est-ce que vous restez à table le soir ?

- a) trente minutes 9 b) une heure 2 c) deux heures 0

8) Est-ce que vous allez souvent au restaurant ?

- a) indien 0 b) italien 1 c) chinois 5 d) français 8 e) autre 2

9) En général, où est-ce que vous faites les courses ?

- a) dans un supermarché 11 b) chez un commerçant 1 c) sur un marché 2

10) Est-ce que vous invitez souvent chez vous, vos amis ?

- a) une fois par semaine 1 b) de temps en temps 9 c) jamais 1

Les habitudes des Français (thème : le temps libre

Personnes âgées Famille Couple

1) En général, qu'est-ce que vous faites le week-end ?

- a) vous restez à la maison 12 b) vous sortez avec des amis 9 c) vous faites du sport 3
d) vous allez au cinéma, au musée etc... 9 e) autre 6

2) Où est-ce que vous passez vos vacances ?

- a) chez vous 8 b) chez des amis 1 c) dans la famille 12 d) dans un hôtel 4
e) dans un camping 3

3) Combien de temps est-ce que vous regardez la télévision par jour ?

- a) moins d'une heure 6 b) une heure 12 c) plus d'une heure 12

4) Est-ce que vous allez souvent au cinéma ?

- a) une fois par semaine 1 b) une fois par mois 9 c) rarement 19

5) Quel genre de film vous aimez regarder ?

- a) des films d'action 17 b) des films d'amour 7 c) des films d'horreur 1

6) Qu'est-ce que vous avez comme animal domestique ?

- a) un chien 6 b) un chat 12 c) autre 4 d) pas d'animal domestique 12

7) Qu'est-ce que vous aimez regarder comme sport ?

- a) la Coupe du monde de football 7 b) le Tour de France 3
c) le Tournoi de tennis Roland-Garros 4 d) les Jeux Olympiques 6

8) Qu'est-ce que vous aimez lire ?

- a) des romans 12 b) des magazines 15 c) des journaux 2 d) autre 7

9) Quel genre de musique vous écoutez ?

- a) de la musique classique 12 b) du rock, du rap 8 c) de la variété 5 d) autre 5

10) Qu'est-ce que vous connaissez sur le Japon ?

- a) les mangas 13 b) la technologie 6 c) les arts traditionnels (l'ikébana, le kimono, les estampes etc...) 15 d) les arts martiaux (le judo, le karaté, le kendo etc...) 12 e) autre

1

Les habitudes des étudiants

1) Vous êtes étudiant en quoi ?

- a) en économie 6 b) en droit 6 c) en lettres 1 d) en sciences 18 e) en gestion 3
f) en langues 5 g) en sciences humaines 0

2) Combien de cours est-ce que vous avez par semaine ?

- a) moins de 10 cours 12 b) 10 cours 10 c) plus de 10 cours 18

3) Quelle langue est-ce que vous étudiez ?

- a) l'anglais 31 b) l'allemand 9 c) l'espagnol 13 d) l'italien 0 e) le chinois 1
f) le japonais 0 g) autre 0 h) aucune 6

4) Comment est-ce que vous utilisez votre ordinateur ?

- a) pour écrire des rapports 15 b) pour chercher des informations 38 c) pour lire les actualités 10 d) pour faire des jeux 6 e) pour écouter de la musique 23

5) Comment est-ce que vous venez à l'université ?

- a) à pied 10 b) à vélo 1 c) en tramway 18 d) en bus 5 e) en voiture 7 f) en moto 1

6) Est-ce que vous vous intéressez à la politique ?

- a) un peu 18 b) beaucoup 13 c) pas du tout 10

7) Qu'est-ce que vous faites en dehors de l'université ?

- a) du sport 21 b) de la musique 9 c) du théâtre 1 d) autre 9 e) rien 7

8) Quand est-ce que vous faites un petit travail ?

- a) après les cours 8 b) le week-end 1 c) pendant les vacances 28
d) je ne fais pas de petit travail 7

9) Avec qui est-ce que vous passez le week-end ?

- a) tout seul 4 b) avec votre famille 24 c) avec des amis 17 d) avec votre petit(e) ami(e) 18

10) Qu'est-ce que vous connaissez sur le Japon ?

- a) les mangas 26 b) la technologie 21 c) les arts traditionnels (l'ikébana, le kimono, les estampes etc ...) 14 d) les arts martiaux (le judo, le karaté, le kendo etc ...) 26 e) autre 3